

近畿支部設立 25 周年記念論文コンテスト

最優秀作発表

日本弁理士会近畿支部

2009 年度 支部長

河野 登夫

2010 年 2 月 1 日、日本弁理士会近畿支部は設立 25 周年を迎えました。支部組織化自体は勿論、支部会務運営について近畿支部は先駆者として種々の貢献をしてきたと自負しております。

さて、25 周年記念事業の一環として記念論文コンテストを企画しました。近畿支部会員のみならず、近畿 2 府 4 県に在住、在職する会員外の人にも応募可能としました。そして、優秀作品 3 編には賞金を出すことにしました。論文コンテストはもとより、賞金付きなどの企画は本会の活動も含めて従前の例を知りません。応募がどの程度有るだろうか？「賞金付き」に対してクレームが出はしないか？と、懸念しながら敢行した次第です。

結果は応募総数 12 編、いずれも力作揃いでした。記念事業実行委員会で 4 編を優秀作品候補として予備選出し、これら作品の作者を伏せた上で、畑郁夫（弁護士）、大瀬戸豪志（甲南大学法科大学院教授）及び朝日奈宗太（弁理士）の 3 名の特別審査委員に最終選考をお願いしました。以下に掲載する論文は特別審査委員全員が揃って第一席に選んだ作品です。